消　防　年　報

（平成２２年度）

交野市消防本部

目　　次

沿革（消防本部・消防団）及び組織図・・・・・・・・・・・・1

総務課編
[庶務・管理係]
事務事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
１　一般会計に占める消防予算（当初予算）　・・・・・・・・・１２
２　３年間の消防予算の推移（当初予算）　・・・・・・・・・・１３
３　消防本部（署）階級別職員数　・・・・・・・・・・・・・・・１３
４　現有職員配置状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
５　消防本部文章受発状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
６　支出命令書（予算）執行件数　・・・・・・・・・・・・・・・１３
７　庁舎等維持管理関係委託状況　・・・・・・・・・・・・・・・１３
８　消防署見学状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
９　職員教養派遣状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

[消防団係]
事務事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
１　消防団の組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
２　主要事業一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
３　火災等出動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
４　階級別団員数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
５　年齢別団員数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
６　勤続年数別団員数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
７　団員職域状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
８　退職報賞金支給状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
９　消防団補助金交付状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
１０　消防団車両等保有状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

予防課編
[予防係]
事務事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
１　防火対象物　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
２　建築同意事務処理状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
３　用途別建築同意状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
４　消防用設備等の設置届出状況　・・・・・・・・・・・・・・・２３
５　消防用設備等の設置状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
６　中高層防火対象物状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
７　防火管理者選解任届出状況　・・・・・・・・・・・・・・・・２６
８　消防検査・立入査察実施回数　・・・・・・・・・・・・・・・２６

９　山林パトロール実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
１０　訓練指導　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
１１　出前講座　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
１２　住宅用火災警報器の地区別設置状況等　・・・・・・・・・・２７
[危険物係]
事務事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
１　危険物施設数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
２　危険物施設類別状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
３　地区別危険物施設状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
４　危険物手数料納付状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
５　消防検査・立入査察実施件数　・・・・・・・・・・・・・・・・３１
６　危険物関係事務処理件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２

警備課編
[警備係]
事務事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
１　火災統計
（１）過去３年間の火災概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
（２）地区別・月別火災発生状況　・・・・・・・・・・・・・・・・３７
[救急係]
２　救急統計
（１）過去３年間の事故別救急出動状況　・・・・・・・・・・・・３８
（２）地区別救急出動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
（３）年齢別救急搬送状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
（４）所要時間別病院収容状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
（５）診療科目別搬送状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
（６）月別重複救急出動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
（７）救急隊員が行った救急処置状況　・・・・・・・・・・・・・・４１

[救助係]
３　救助統計
（１）救助出動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
（２）救助出動前年度比較表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
（３）その他の緊急出動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３

４　各種届出等状況
（１）各種届出等事務処理状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
（２）各種証明書発給状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
[通信指令係]
５　通信統計
（１）１１９番受信状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
（２）無線局一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４

（３）気象関係
① 気象情報受信状況（大阪管区気象台発表）・・・・・・・・４４
② 気象観測状況（消防本部観測）・・・・・・・・・・・・・・４４
６　年間行事・訓練
（１）年間行事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
（２）訓練指導状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
（３）体験学習実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５

７　緊急消防援助隊（大阪府隊）
（１）東北地方太平洋沖地震に伴う人命検索等の活動状況　・・４５

８　消防施設等状況
（１）管内水利状況
ア・市街地　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
イ・山地内（パイプライン施設）　・・・・・・・・・・・・・４７
（２）保有車両状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

９　各種事業実績
（１）消防施設整備委託事業等　・・・・・・・・・・・・・・・・４８
（２）通信設置整備事業等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
（３）負担金補助支出状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９

消　防　本　部（署）の　沿　革

４５年　４月　常備消防発足準備のため、職員７名を採用
　　７月　救急車の寄贈を受ける（日本船舶振興会）
４６年　３月　消防団用短波無線を導入し、基地局及び移動局を設置
　　救急情報センター端末機を設置
　　１１月　交野市市制施行、初代市長に原田誠一氏が就任同日、交野市大字私部 3055 番地に交野市消防本部（署）を設置、創設消防長事務取扱に中田良雄氏が就任、職員２９名、タンク車、救急車、指令車で業務開始
　　ポンプ車（ＢＳ－１型）を消防署に配置
４７年１１月　初代消防長に有家昭男氏が就任
４８年　４月　救急車を消防署に配置（大阪府モーターボート競走会寄贈）
　　１０月　消防本部に連絡車を配置
４９年　４月　消防本部に査察車を配置
　　５月　府民の森に於いて大規模山林火災が発生
　　７月　交野市消防庁舎が天野が原町４丁目８番１号に完成、庁舎屋上に望楼監視テレビ装置を導入し、業務開始
５０年　１月　救急一斉指令装置を導入し、消防活動の強化を図る
　　２月　消防庁舎敷地内に自家給油取扱所を設置、消防車両の給油を開始
　　６月　二代目消防長に中隆氏が就任
　　１０月　スノーケル車（１６メートル級）を消防署に配置
５１年　５月　消防庁舎前府道交野久御山線に緊急出動予告灯を設置
　　８月　ポンプ車（ＢＤ－１型）を消防署に配置（日本損害保険協会寄贈）可搬式ポンプ（Ｃ－１級）を消防署に配置
５２年　５月　救命用ゴムボートを消防署に配置
５３年　３月　救急車を消防署に配置（交野ライオンズクラブ寄贈）
　　山林火災対策事業として初めて消防用パイプライン及び防火水槽を設置（獅子窟寺一期工事）
　　４月　自治体消防３０周年及び長官表彰旗受章記念式典並びに殉職者慰霊祭を青年の家に於いて挙行
　　８月　電波法の改正により中短波無線局は廃局
５４年　３月　消防用パイプライン及び山林防火水槽を設置（獅子窟寺二期工事）
　　市域境界線上に位置する消防対象物の取扱い協定を枚方・寝屋川・四條畷の各市と締結
　　４月　医療情報システムＣＲＴディスプレイ装置端末機を導入
　　８月　タンク車（Ⅱ型））を消防署に配置
　　１０月　消防用パイプライン設置（星田妙見宮）
５５年　３月　消防長事務取扱に原田誠一市長が就任
　　４月　三代目消防長に有家昭男氏が就任

８月　可搬式ポンプ（Ｄ－２級）を消防署に配置（大門至氏寄贈）
１０月　府県共通波消防無線を導入
５６年　３月　消防用パイプライン設置（森古墳群）
４月　救急車を消防署に配置（大阪府モーターボート競走会寄贈）
８月　大阪ガス（株）と「ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ」調印
５７年　３月　山林火災用防火水槽設置（森古墳群）
消防用パイプライン設置（倉治宮山）
傍示地区消防対策として谷川を利用した防火水槽を設置、同地区自衛消防用可搬式ポンプ等資機材を配置
１０月　交野市消防少年少女音楽隊結成
５８年　３月　消防用パイプライン設置（獅子窟寺三期工事）
４月　連絡車を消防署に配置
９月　ポンプ車（ＣＤ－１型）を消防署に配置
５９年　３月　消防用パイプライン設置（寺地区住吉神社～かいがけの道）
４月　軽ダンプを消防署に配置（交野市火災予防協会寄贈）
６０年　２月　可搬式ポンプ等資機材を星田山手地区に自衛消防用として配置
３月　消防用パイプライン設置（傍示～かいがけの道）
４月　消防長事務取扱に原田誠一市長が就任
四代目消防長に古賀三徳氏が就任
１０月　消防用パイプライン設置（白旗池～交野山・白旗池～源氏の滝）
６１年１１月　消防用パイプライン設置（野外活動センター～旗振山）
山林火災用防火水槽設置（郡南街道）
大正１５年に新調され磐船村に配置された腕用ポンプを復元
６２年　３月　救急車を消防署に配置（大阪府共済農業協同組合連合会寄贈）
防火水槽設置（月の輪の滝）
７月　消防用パイプライン設置（倉治雪ヶ原）
６２年　９月　化学車（１型）を消防署に配置（日本損害保険協会寄贈）
１１月　交野市他６市が「大阪府東部林野火災特別地域」に指定された
６３年１１月　複雑多様化する災害を軽減するため、消防緊急情報システム（Ｉ型）の更新工事を行い即応性のある消防体制の確立を図った
１２月　消防用パイプライン設置（交野カントリー交野山ルート）
元年　３月　消防用パイプライン設置（交野山私部口山ルート）
消防用パイプライン放水口増設工事（かいがけの道ルート）
山林火災対策用防火貯水槽補修工事（傍示）
８月　消防用パイプライン設置（私市山手土生川ルート）
１０月　消防用パイプライン設置（倉治山手配水池ルート）
２年　３月　消防用パイプライン設置（星田妙見川・傍示関電道路・白旗池北各ルート）
１１月　消防用パイプライン設置（私部郡南街道大曲ルート）
１２月　消防用パイプライン設置（星田新宮山ルート）
３年　２月　救急波を導入し、平成３年２月１日から運用を開始

２月　消防用パイプライン設置（獅子窟寺仁王門ルート）
３月　獅子窟寺関連ルートに格納箱(３箇所)及び山林防火広報標識(２箇所)を設けた
７月　全国消防救助技術大会近畿地区指導会へほふく救出競技に出場
９月　消防用パイプライン設置（私部郡南街道上ルート）
１０月　救助工作車Ⅱ型を消防署に配置
４年　１月　消防用パイプライン設置（私部郡南街道下ルート）
３月　通信業務の充実を図るため、府県波無線基地局の更新改修工事を行った
消防用パイプライン設置（森南古墳群上ルート）
条例定数の見直しを行い職員数 73 名とした
４月　消防長事務取扱に井上信夫助役が就任
五代目消防長に北田樹徳氏が就任
消防署に救急担当を置く
９月　消防用パイプライン設置（傍示・私部住吉神社地ルート）
１０月　消防ポンプ自動車（ＣＤ－１型・四輪駆動）を更新し配備
６年　３月　救急隊員の行う応急処置等の基準の改正に伴い、中規格救急車を導入し、平成６年３月１１日より運用を開始
消防用パイプライン設置（私市・獅子窟寺参道ルート）
４月　予防課予防査察車配備
７年　１月　阪神・淡路大震災応援出動（指揮隊・救助隊・救急隊・消火隊等延べ７日間延べ２３台延べ６０名を特別派遣）
１月　消防用パイプライン設置（土生川・きつね山ルート）
７月　枚方信用金庫より人員搬送車の寄贈を受け、配備
９月　タンク車を更新し配備
１０月　全国波基地局増強改修工事
８年　３月　梯子車（４０ｍ級）を消防署に配備
耐震性防火水槽（２槽４０ｔ）設置工事（妙見坂１丁目ちびっこ広場内、倉治３丁目ちびっこ広場内）
消防用パイプライン設置（私市・尺治坪坂ルート）
分団サイレン遠隔装置(遠隔装置７ヶ所)取り替え及び収納端子盤取り付け工事
９月　救急車（２Ｂ型）を消防署に配置（財団法人日本消防協会寄贈）
全国共通波（移動局）増波改修工事（車載用７基　携帯用４基）
大規模災害消防応援実施計画に基づく、大阪府・大阪市合同震災総合訓練にブロック代表としてポンプ車分隊１隊が参加
９年　１月　耐震性防火水槽（１槽４０ｔ）設置工事（郡津３丁目２２広場内）
２月　消防用パイプライン設置（星の里いわふねルート）
８月　府の事業として、天野川両岸河川敷内（松塚及び枚方市釈尊寺地区）に防災用ピットが完成
９月　消防本部、署、団合同で天野川緑地内において大中継送水訓練

を実施
１０月　高規格救急車を消防署に配置
ＩＳＤＮ回線工事（自動車電話及び携帯電話から１１９番受信）
１１月　大規模災害消防応援実施計画に基づく、緊急消防援助隊、近畿ブロック合同訓練（京都府精華町）に東ブロックを代表としてポンプ車分隊１隊が参加
１２月　自動車電話及び携帯電話から１１９番受信運用開始
１０年　３月　耐震性防火水槽（１槽４０ｔ）設置工事（私市若宮神社地内）
消防用パイプライン設置（星田新池右岸ルート）
１０月　大阪府防災行政無線設備設置工事に伴い、無線基地局制御器移設工事を行った
１１月　地域総合防災訓練が総合体育施設駐車場において実施され、消防本部、消防署、消防団が参加
消防用パイプライン設置（星田新池左岸ルート）
耐震性防火水槽（１槽４０ｔ）設置工事（寺会館敷地内）
救急車に搭載しているアナログ方式自動車・携帯電話の電波が効率的に使用できるデジタル方式に移行するため、心電図伝送システム等をデジタル方式に転換した
１１年１０月　CD－1 型消防ポンプ自動車（水槽付 900ℓ）を導入し、２６日より運用開始
１１月　緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練が近畿２府７県主催により堺市において実施され、これに参加
１２年　７月　枚方信用金庫よりインパルス消火システム・ノートパソコン・プリンターの寄贈を受け、配備
１３年　８月　市制施行３０周年に伴い、記念式典・交野まつり会場へ、救急隊等を事前進駐し警戒・警備に努めた
１４年　４月　消防長事務取扱に阪長保助役が就任
８月　消防長事務取扱に奥田鐵彦氏が就任
１５年　４月　六代目消防長に林隆氏が就任
１０月　平成１５年度緊急消防援助隊・近畿ブロック合同参集訓練（万博公園東駐車場）及び大阪府隊合同訓練（大阪市消防学校）に参加
１２月　昭和６２年製消防緊急通信指令台を高機能緊急通信指令システム（指令台）に 更新し運用を開始（リース）
１６年　１月　火災報告等オンライン処理システムを運用開始
高度救命用資器材を積載した本市２台目となる高規格救急車を導入し、運用開始
７月　交野ロータリークラブより庶務貨物車の寄贈を受け、配備
１２月　インターネット・プロトコルト（ＩＰ電話）の１１９番専用回線を導入し、運用開始
１７年　１月　心肺蘇生統計基準（ウツタイン様式）に基づく心肺機能停止傷病者記録票調査

統計処理オンラインシステムを運用開始
４月　七代目消防長に青木奈良夫氏が就任
枚方信用金庫より指揮車の寄贈を受け、配備
９月　消防庁舎耐震補強・改修工事を行った（平成 17 年 9 月から平成 18 年 6 月ま で）
１２月　携帯電話からの１１９番通報について、総務省消防庁通達に基づき、地域を代表する消防本部が受信し、管轄消防本部へ転送する「分散受信方式」から、直接管轄消防本部で受信する「直接受信方式」へ移行したため、直接受信方式の整備を図り、府下消防本部一斉に運用開始
消防用緊急通報電話に関して、災害発生場所をより迅速且つ的確化する観点から、発信地を自動的に表示する「新発信地表示システム」と「地図検索装置」を導入し、運用開始
１７年１２月　緊急消防援助隊に伴う消防用資機材を整備
１８年　２月　条例改正に伴う住宅用火災警報器設置の義務化についてのチラシを市内全住戸
に配布
３月　救急波の老朽化に伴い、基地局を更新し、通信・救急業務等のホットラインの強化を図った
１２月　ⅡＢ型救急車の老朽化に伴い、本市 3 台めとなる高規格救急車（高度救命用資器材積載）を更新配備
１９年　２月　市町村波無線基地局の老朽化に伴い基地局を更新
４月　八代目消防長に中角弘文氏が就任
７月　交野市火災予防協会より広報連絡車の寄贈を受け、配備
１０月　ＮＯｘ・ＰＭ法の規制により継続車検を受けることができなくなったため、化学車を廃車
１０月　ＮＯｘ・ＰＭ法の期限満了による既存救助工作車の廃車に伴い、新鋭の救助工作車（Ⅱ型）を更新配備
２０年　４月　九代目消防長に池埜修氏が就任
１０月　ＮＯｘ・ＰＭ法の期限満了による既存ポンプ車（４号）廃車に伴い、新鋭の消 防ポンプ自動車（ＣＤ－１型・ＣＡＦＳ搭載車）を更新配備
２２年　１月　第二京阪道路開通に伴う（枚方東インターチエンジ～門真ジャンクションまで）
消防相互応援協定を締結した
３月　第二京阪道路開通に伴う合同訓練を、本市消防本部・枚方寝屋川消防組合消防本部・守口市門真市消防組合消防本部・四條畷市消防本部・大阪市消防局（航空隊）・京田辺市消防本部・大阪府警察本部交通部高速道路交通警察隊・西日本高速道路株式会社で実施
２２年　４月　１０代目消防長に新庄豊氏が就任
５月　統合型位置情報通知システム導入

（位置情報発信装置導入費、IP-VPN 回線初期構築費、IP-VPN 回線利用料等の費用は事証実験対象により、総務省消防庁が負担）

７月　消防救助技術近畿地区指導会へ参加
（兵庫県三木市・広域防災センターに於いて、はしご登はん競技に４名出場）

７月　消防職員対象の交通安全講習会実施

７月　枚方信用金庫より事務用品・機材及び予防査察車の寄贈を受け、配備

９月　住宅用火災警報器の全住宅への設置を目指すと共に、火災による死傷者の低減を目的とし、緊急雇用対策事業を活用し臨時職員２名を採用して２３年２月末日までの間、市内約２３，０００世帯に設置率の把握及びアンケート調査を実施

１０月　消防救急無線デジタル化に伴う東ブロック共同で電波伝搬調査実施

１１月　大阪府北河内地域７市合同防災訓練（大東市深北公園）救急車（３名）参加

２３年　３月　東北地方太平洋沖地震発生により、緊急消防援助隊大阪府隊として岩手県大槌町へ派遣
（平成２３年３月１１日〔金〕８時３０分、職員５名を第１次隊として被災地に、第２次隊職員４名を平成２３年３月１３日（日）午後２時に交代要員として派遣）
○平成２３年３月１５日（火）一次隊帰阪
○平成２３年３月２０日（火）二次隊帰阪

非　常　備　消　防　の　沿　革

昭和２２年	４月	消防団を結成
	４月	初代消防団長に岡本安治郎氏が就任
２７年	４月	消防団本部に小型四輪ポンプ車を配備
３０年	４月	交野町と星田村が合併し新交野町となり、倉治、郡津、私部、森、寺、私市、星田の７分団からなる消防団を編成
	４月	二代目消防団長に大中太三郎氏が就任
３３年	４月	三代目消防団長に大門英三氏が就任
３７年	２月	日本消防協会長から竿頭綬を受章
	３月	消防団本部にポンプ車を配備
	４月	四代目消防団長に中嶋小次氏が就任
３８年	２月	日本消防協会長から竿頭綬を受章
	３月	私部、星田、私市の各分団にポンプ車を配備
	７月	五代目消防団長に大門至氏が就任
４０年	２月	日本消防協会長から表彰旗を受章
	３月	倉治分団にポンプ車を配備
４３年	２月	森、寺分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	３月	大阪府知事から表彰旗を受章
	６月	役場職員で本部分団を編成（８分団となる）
４４年	１月	本部分団にタンク車を配備し、本部分団に配備していたポンプ車を郡津分団に配備替
	３月	消防団本部に交野町火災予防協会から指令車の寄贈を受ける
	９月	消防庁長官から林野火災の被害最小限の功により表彰を受章
	１２月	消防団本部庁舎の増築及び私部分団車庫完成
４５年	１月	倉治、郡津、星田、私市の各分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	３月	私部及び本部分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	１２月	倉治分団員厚主嘉一氏が訓練中殉職（二階級特進）
４６年	７月	私市分団車庫完成
４７年	３月	消防庁長官から竿頭綬を受章
昭和４８年	５月	倉治分団車庫完成
	１０月	郡津分団車庫完成、可搬式ポンプ積載車配備
４９年	９月	私部分団に可搬式ポンプ積載車を配備し、旧可搬式ポンプ積載車は消防署に配備替
５１年	９月	寺分団員奥泰治氏が訓練中に殉職（二階級特進）
	１０月	星田分団車庫完成、ポンプ車を更新配備
５２年	５月	森分団車庫増築、星田分団ポンプ車を森分団に配備替
	１１月	私部分団ポンプ車を更新配備
５３年	２月	私市分団に可搬式ポンプ積載車を配備

３月　寺分団車庫増築、私部分団ポンプ車を寺分団に配備替
３月　消防庁長官から表彰旗を受章
５４年　９月　日本消防協会から可搬式ポンプ積載車の寄贈を受け、森分団に配備し、旧可搬式ポンプ積載車を消防署に配備替
５５年　１月　倉治分団神宮寺車庫完成
１０月　星田分団に可搬式ポンプ積載車を配備
５６年　４月　六代目消防団長に林清次氏が就任
４月　方面隊制を施行
１０月　私市分団にポンプ車を配備
５８年　９月　寺分団にポンプ車を配備
１２月　倉治分団にポンプ車を配備
６０年１０月　森分団が北河内地区支部の代表として大阪府消防大会に出場
１０月　倉治分団に可搬式ポンプ積載車を配備
６１年　７月　寺分団に可搬式ポンプ積載車を配備
８月　北河内支部大会で第３方面隊が規律訓練を披露
６２年　３月　私部分団に可搬式ポンプ積載車を配備
５月　郡津分団に可搬式ポンプ積載車を配備
８月　北河内支部大会で第１方面隊が規律訓練を披露
６３年　２月　倉治分団車庫完成
６月　星田分団「第３回大阪の消防大賞」を受章
９月　寺分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場
平成　元年　２月　日本消防協会から竿頭綬を受章
４月　七代目消防団長に廣隆夫氏が就任
９月　北河内支部大会で第２方面隊が規律訓練を披露
９月　星田分団ポンプ車更新配備
２年　３月　私市分団に可搬ポンプ積載車を配備、同ポンプ車を森分団に配備替
８月　北河内支部大会で第３方面隊が規律訓練を披露
３年　９月　北河内支部大会で第１方面隊が規律訓練を披露
４年　９月　私市分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（ポンプ車の部）
１０月　星田分団可搬ポンプ積載車を更新配備
５年　３月　大阪府消防協会長より表彰旗を受章
８月　北河内支部大会で第２方面隊が規律訓練を披露
１０月　私部分団車庫完成（移転）
６年　２月　倉治分団に小型動力ポンプ（Ｂ３級）更新配備
８月　北河内支部大会で第３方面隊が規律訓練を披露
１０月　私部分団にポンプ車（CD－Ｉ型）を更新配備
７年　２月　阪神・淡路大震災に伴う応援派遣
２月　郡津分団に小型動力ポンプ（Ｂ３級）更新配備
７月　本部分団に可搬ポンプ積載車を配備（ポンプ車廃車）

	９月	本部分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（小型ポンプの部）
	９月	森分団にポンプ車（BD－Ⅰ型）及び可搬ポンプ積載車更新配備
８年	２月	私市分団に小型動力ポンプ（B３級）更新配備
	３月	寺分団車庫完成
	７月	郡津分団ホース干し場改修
	８月	北河内支部大会で第１方面隊が規律訓練を披露
９年	４月	八代目消防団長に北村三郎氏が就任
	８月	北河内支部大会で第２方面隊が規律訓練を披露
	９月	私市分団にポンプ車（CD－Ⅰ型）更新配備
平成１０年	５月	本部分団を廃団し７分団となる
	８月	北河内支部大会で第３方面隊が規律訓練を披露
１１年	４月	九代目消防団長に堀江成幸氏が就任
	９月	私部分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（ポンプ車の部）
	９月	寺分団にポンプ車（CD－Ⅰ型）更新配備
１２年	８月	北河内支部大会で第１方面隊及び私部分団が規律訓練を披露
１３年	８月	北河内支部大会で第３方面隊及び森・寺分団が規律訓練を披露
１４年	３月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
	９月	倉治分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（小型ポンプの部）
	９月	郡津分団にポンプ車（CD－Ⅰ型）更新配備
１５年	４月	十代目消防団長に橘内誠治氏が就任
	８月	北河内支部大会で第１方面隊及び私部分団が規律訓練を披露
１６年	８月	北河内支部大会で第３方面隊及び森・寺分団が規律訓練を披露
１７年	８月	北河内支部大会で第１方面隊及び私部分団が規律訓練を披露
	１０月	倉治分団に可搬式ポンプ積載車を更新配備
１８年	３月	大阪府知事より表彰旗を授章
	３月	私市分団に私市区より可搬式ポンプ積載車の寄贈を受ける
	９月	星田分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（ポンプ車の部）
	９月	星田分団に可搬式ポンプ積載車を更新配備
１９年	４月	十一代目消防団長に辻一氏が就任
	８月	北河内支部大会で第３方面隊及び森・寺分団が規律訓練を披露
２０年	３月	日本消防協会長より表彰旗を受章

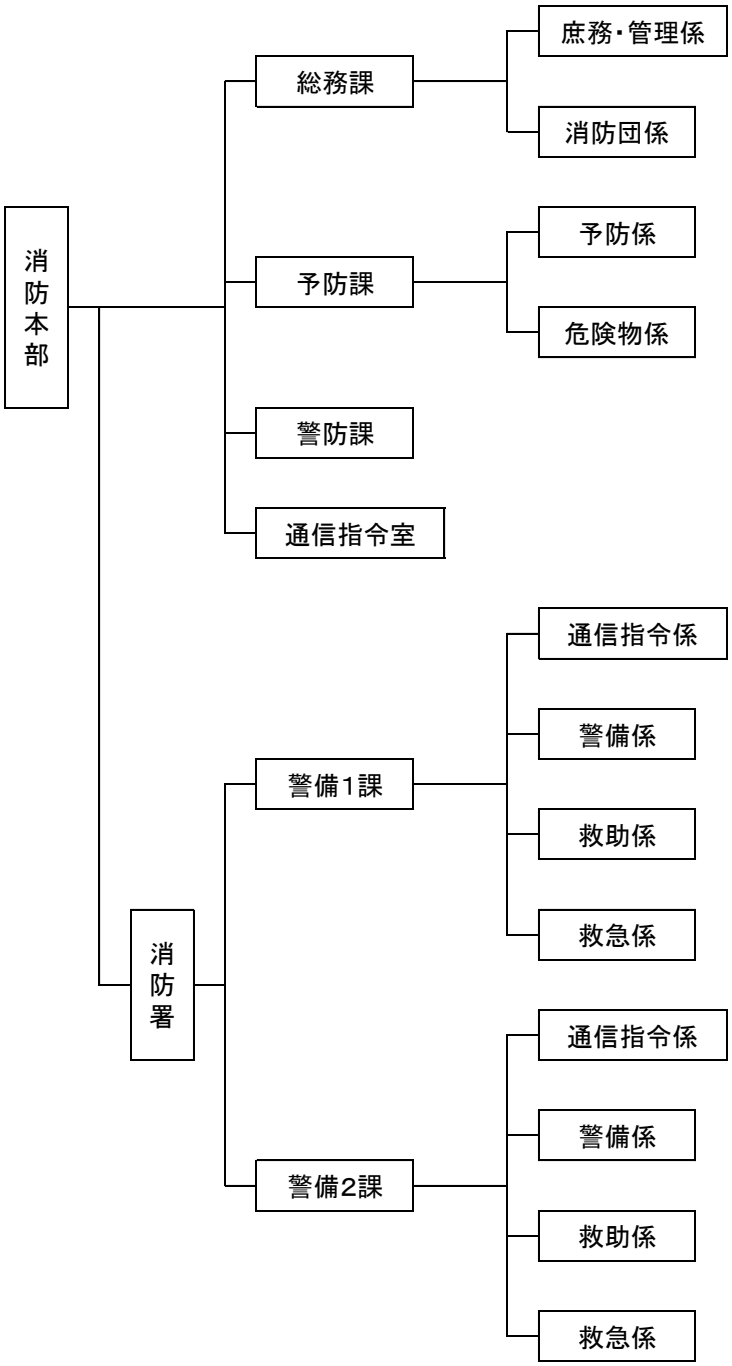
８月　北河内支部大会で第１方面隊及び私部分団が規律訓練を披露

２１年　９月　星田分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（小型ポンプの部）し、第３位入賞

２２年　８月　北河内支部大会で第１方面隊及び私部分団が規律訓練を披露

９月　私部分団にポンプ車（CD－Ⅰ型）を更新配備

交 野 市 消 防 本 部 （ 署 ） 組 織 図



総　務　課

総務課編

[庶務・管理係]

近年の災害事象は、急速な都市化に伴い、又、地球温暖化等による影響で予想しがたい災害が発生しているところでございます。

昨年は、６月から９月にかけて猛暑が続き、多数の方が熱中症で医療機関に搬送されました。梅雨の時期は予想をはるかに超える大雨となり、特に鹿児島県奄美地方を襲った局地的な豪雨では甚大な被害を受けるなど地球温暖化による影響が多く見られました。１月には九州地方で新燃岳が５２年ぶりに噴火、３月１１日には太平洋三陸沖を震源に、宮城県では震度７を記録しました未曾有の大災害、東北地方太平洋沖地震が発生し、15,000 人を超える尊い人命を失うなど、近年の災害はその規模、経過等、全く予想がつかない状態になってきておりますのが実情でございます。

このような状況の中、市民の生命・身体・財産を守るため、本年も４名の消防吏員を採用し、消防吏員としての専門知識や技術の修得並びに資質の向上を図るため、府立消防学校に６ヶ月間の初任教育生として派遣しました。さらに、各種専門知識及び技能を習得し、業務を的確に遂行するため、府立消防学校に１４名を教育派遣しました。一方、救急救命士に対しては、年々高度化する救命処置の修得のため、府立消防学校で気管挿管講習・薬剤投与追加講習、関西医科大学高度救命救急センターに於いて救急救命士就業前研修及び関西医科大学附属滝井病院に於いては、気管挿管病院実習並びに救急救命士就業中再教育病院実習に派遣し、より高度な救命処置と応急処置の習熟に努めた。

また、市内の児童や園児が社会学習の一環として、年間１１回延べ９１１人が来署し、市民の安全を守るため、日夜職務に励んでいる消防署の業務について学習指導を実施した。

なお、７月２７日に枚方信用金庫から創立６０周年事業として、消防車両及び事務用品等の寄贈を受けました。

１．一般会計に占める消防予算（当初予算）　（単位：千円）

年度＼予算	一般会計	消防予算	比率（パーセント）
平成２０年度	19,347,988	663,780	3.4
平成２１年度	20,053,990	616,164	3.1
平成２２年度	23,478,492	605,778	2.6

※　消防予算のうち災害対策費を除く

２．３年間の消防予算の推移（当初予算）　（単位：千円）

科目＼年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
消防費		663,780	616,164	605,778
内訳	常備消防費	581,494	570,493	542,557
	非常備消防費	32,326	32,906	32,551
	消防施設費	49,690	12,495	30,400
	水防費	270	270	270

※　消防予算のうち災害対策費を除く

３．消防本部（署）階級別職員数　　（条例定数７３人）

階　級	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	事務職員	計
	１	１１	６	２１		２９		６８

４．現有職員配置状況

年度／所属	平成２１年度		平成２２年度		条例定数
消　防　長	１		１		―――
参　　事	１		１		―――
署　　長	１		１		―――
次　　長	２		１		―――
総　務　課	９		５		―――
予　防　課	４		４		―――
警　備　課	１　課 ２　課	５２	１　課 ２　課	５５	―――
計	７０		６８		７３

５．消防本部文書受発状況

受・発／係	受理	発送
庶務・管理	４１０	１４７
消　防　団	９９	５４
予　　防	１８５	９
危　険　物	６５	２６
警　　備	２１５	１３４
救　　急	２５	５７
計	１，２３２	５１７

６．支出命令書（予算）執行件数

予　算　科　目	執行件数
常備消防費	１，０２４
非常備消防費	４７１
消防施設費	９
水　防　費	６
計	１，５１０

７．庁舎等維持管理関係委託状況

業務内容	委託期間	委託金額	委託業者
庁舎清掃委託	平成22年4月　1日から 平成23年3月31日まで	3,367,350円	大阪府知的障害者雇用促進建物サービス事業共同組合
自家発電機管理委託	平成22年4月　1日から 平成23年3月31日まで	210,000円	司電機産業株式会社
電気管理委託	平成22年4月　1日から 平成23年3月31日まで	163,800円	川口電気設備管理事務所
一般廃棄物処理業務委託	平成22年4月　1日から 平成23年3月31日まで	83,160円	都市環境開発株式会社
消防署構内剪定委託	平成22年9月　1日から 平成22年9月　3日まで	347,340円	交野造園
消防用設備点検	平成23年1月29日	31,500円	有限会社　ダイトー

８．消防署見学状況

見　学　月　日	名　　称	人　　員
平成２２年5月２０日	市立私市小学校	７３名
平成２２年6月１０日	市立郡津小学校	１２４名
平成２２年6月１１日	ふじがお幼稚園	３６名
平成２２年6月２２日	市立星田小学校	６１名
平成２２年6月２４日	市立倉治小学校	１２０名
平成２２年6月２８日	市立旭小学校	８９名
平成２２年6月３０日	市立藤が尾小学校	７２名
平成２２年9月　３日	市立交野小学校	１２７名
平成２２年１０月６日	市立妙見坂小学校	８７名
平成２２年１０月８日	市立長宝寺小学校	５９名
平成２２年１０月１５日	市立岩船小学校	６３名
計		９１１名

９．職員教養派遣状況

派　遣　期　間	教　育　内　容	場　　所	人 員
4月　6日 ～　9月 25日	第88回初任教育	府立消防学校	3名
4月 19日 ～　4月 22日	第78回特別教育はしご車技術講習	府立消防学校	2名
5月　6日 ～　6月　2日	救急救命士気管挿管病院研修	関西医科大学滝井病院	1名
5月 11日 ～　6月 30日	第6回特別教育救急救命士薬剤投与講習	府立消防学校	2名
5月 29日 ～　5月 30日	ガス溶接技能講習	テクノセンター南大阪	1名
6月 18日 9月　9日	安全運転管理者法定講習	ドーンセンター メッセ枚方会館	2名
7月　5日 ～　7月　6日	特定化学物質作業主任者	エル・おおさか南館	1名
7月　7日 ～　7月 22日	第94回幹部教育初級幹部科	府立消防学校	1名
5月 18日 ～　5月 20日	玉掛け技能講習	大阪特殊自動車学校	1名
5月 31日 ～　6月　2日	小型移動式クレーン技能講習	大阪特殊自動車学校	1名
6月 16日 ～　8月　6日	第196回専科教育救急科	府立消防学校	2名
8月　7日 ～ 10月　6日	大型Ｉ種免許資格取得講習	阪奈自動車教習所	1名
8月 12日 ～　8月 13日 12月　7日 ～ 12月　8日	大阪市消防局指令情報センター実務研修	大阪市消防局	2名
9月　7日 ～　9月　8日	東ブロック合同第二級陸上特殊無線技士	守口市門真市消防組合消防本部	2名
10月 15日	消防職員体力練成研修会	大阪市消防局・南津守さくら公園	2名
10月 20日 ～ 11月 29日	第197回専科教育救助科	府立消防学校	2名
11月 17日 ～ 11月 26日	第198回専科教育危険物科	府立消防学校	1名
11月 25日 ～ 12月 15日	救急救命士気管挿管病院実習	関西医科大学滝井病院	1名
1月　6日 ～　3月　1日	第199回専科教育救急科	府立消防学校	1名
1月 13日 ～　1月 24日	第95回幹部教育中級幹部科	府立消防学校	1名
2月　2日 ～　2月 23日	第200回専科教育予防査察科	府立消防学校	1名
2月 25日	第96回幹部教育上級幹部科	府立消防学校	1名
計			30名

消　防　団

[消防団係]

本市消防団は、常備消防との円滑な連携のもと、消防の崇高な精神である奉仕の精神に立脚し、市民の生命、身体、財産等を火災等のあらゆる災害から守り「安全・安心」を主題とした緑豊かで暮らしやすいまちをめざし、日夜災害防止に全力を傾注した。

(1) 団員の消防技術の向上を図るため各種大会に参加するとともに、初任教育訓練、北河内地区支部大会、大阪府消防大会、機関員養成訓練等の各種訓練を実施した。
(2) 全国一斉の春秋火災予防運動期間中、駅頭、店頭、夜間巡行広報等を実施し、市民に対し火災予防の普及啓発に努めた。
(3) 全国女性消防団員活性化大会に女性消防団員が参加した。
(4) 第１方面隊と私部分団が合同で規律訓練を実施し、北河内地区支部総合訓練大会で訓練の成果を披露した。
(5) ９月、私部分団に排出ガス規制をクリアした最新鋭のＣＤ－Ｉ型ポンプ自動車を更新配備した。
(6) 普通救命講習会に延べ１１回、団員が市民等２４８名に AED 等の救命講習の指導にあたった。
(7) 春秋行楽シーズン中、延べ１１日、車両１１台、団員６６名を動員して火災発生危険行為等の監視活動及びハイカー等に対し、山火事予防を強力に訴え山林火災の防止に努めた。
(8) クリーングリーン作戦に各分団から３７名が参加し、美化活動及び地域住民の誘導と事故防止に努めた。
(9) 歳末特別警戒に延べ４日間、２７９名の団員が夜警及び巡回活動を実施した。
(10) 火災出動のため、延べ２回、１分団、１６名が出動した。
(11) その他、放水訓練、地域防災訓練等に延べ５５回、９５２名の団員が参加した。

１．消防団の組織

平成２３年３月３１日現在

- 消防団本部（４名）女性団員（６名）
  - 第１方面隊
    - 郡津分団　２０名
    - 倉治分団　３０名
  - 第２方面隊
    - 私部分団　３８名
    - 森　分団　２０名
    - 寺　分団　２０名
  - 第３方面隊
    - 私市分団　２５名
    - 星田分団　３６名

合 計　１９９名

２．主要事業一覧表

実施月	事業内容	場所	参加人員
４月	初級・中級幹部科	消防学校	３名
４月～５月	春の山火事予防運動	市内山林全域	７回　42名
５月～７月	基本操法訓練	消防本部他	２回　38名
５月	支部初任団員教育訓練	消防学校	14名
８月	北河内地区支部総合訓練大会	寝屋川東部公園	62名
９月	大阪府消防大会	消防学校	23名
10月～11月	秋の山火事予防運動	市内山林全域	４回　24名
１１月	大阪府防災訓練（大阪府主催）	大東市・深北緑地	９名
１１月	全国女性消防団員活性化大会	奈良県	３名
１１月	駅頭広報	市内各駅	16名
１１月	秋の火災予防運動夜間広報	管内全域	２日　66名
１１月	専科教育機関員科	消防学校	１名
１１月	クリーングリーン作戦	管内山林	37名
１２月	歳末特別警戒	管内全域	４日　279名
１月	消防出初式	市立第４中学校	159名
３月	店頭広報	ジャンボスクエア交野	６名
３月	春の火災予防運動夜間広報	管内全域	２日　47名
年間	機関員養成及び放水訓練	管内全域	48回　870名
年間	普通救命講習受講	消防本部研修室	４回　70名
年間	地域防災訓練	管内全域	７回　82名

備考　　毎日曜日各分団において車両点検等を実施した。

３．火災等出動状況

月別／出動状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出動回数		1								1			2
分団数		1											1
出動車両		1											1
出動人員		14								2			16

４．階級別団員数

階級 分団	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
団本部	１	３					６	１０
郡津分団			１	５	２	２	１０	２０
倉治分団			１	７	２	３	１７	３０
私部分団			１	５	２	４	２６	３８
森分団			１	５	２	２	１０	２０
寺分団			１	４	２	２	１１	２０
私市分団			１	５	２	３	１４	２５
星田分団			１	６	２	４	２３	３６
計	１	３	７	３７	１４	２０	１１７	１９９

５．年齢別団員数

年齢 分団	18歳以上25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上55歳未満	55歳以上60歳未満	60歳以上	計
団本部			１	２	１	２		１	３	１０
郡津分団	１	２	３	１	５	５	１	２		２０
倉治分団		１		４	７	７	９	２		３０
私部分団		２	７	６	７	８	６	２		３８
森分団			２	３	３	８	２	２		２０
寺分団				９	４	４	３			２０
私市分団	１	２	３	３	４	８	３	１		２５
星田分団			８	６	７	６	６	１	２	３６
計	２	７	２４	３４	３８	４８	３０	１１	５	１９９

６．勤続年数別団員数

年数 分団	５ 年 未 満	５ 年 以 上 １０年 未 満	１０年 以 上 １５年 未 満	１５年 以 上 ２０年 未 満	２０年 以 上 ２５年 未 満	２５年 以 上 ３０年 未 満	３０年 以 上	計
団 本 部	6					1	3	１０
郡津分団	4	5	3	6	2			２０
倉治分団	4	7	7	4	5	3		３０
私部分団	5	7	１１	6	8	1		３８
森 分 団	6	5	2	3	1	1	2	２０
寺 分 団	7	4	3	2	4			２０
私市分団	4	3	4	5	4	5		２５
星田分団	6	7	１１	2	4	3	3	３６
計	４２	３８	４１	２８	２８	１４	8	１９９

７．団員職域状況

計	市　内（自営業）	市　内（会社員等）	市　外
１９９	４８	５５	９６

８．退職報償金支給状況

退　職　消　防　団　員　数	支　給　金　額
9名	３，４００，０００　円

９．消防団補助金交付状況

補　助　事　業　名	補　助　金　額
消 防 団 事 業 補 助 金	年額　　４５５，０００　円
消防団員福祉共済補助金	年額　　２９７，７５０　円

１０．消防団車両等保有状況

消　防　ポ　ン　プ　自　動　車						
分団名	年　式	車両番号	乗車定員	ポンプ性能	型　　式	使用燃料
郡　津	Ｈ１４	大阪８３０ ふ　・１１９	１０人	Ａ－２	ＣＤ－Ｉ	軽　　油
倉　治	Ｈ１１	大阪８３０ な　・１１９	６人	Ａ－２	ＣＤ－Ｉ	軽　　油
私　部	Ｈ２２	大阪８３２ せ　・１１９	６人	Ａ－２	ＣＤ－Ｉ	軽　　油
森	Ｈ　７	大阪８８ せ７９－５１	５人	Ａ－２	ＢＤ－Ｉ	ガソリン
寺	Ｈ１１	大阪８３０ す１９－１９	１０人	Ａ－２	ＣＤ－Ｉ	軽　　油
私　市	Ｈ　９	大阪８８ は３０－１７	６人	Ａ－２	ＣＤ－Ｉ	軽　　油
星　田	Ｈ１７	大阪８３１ た　・１１９	６人	Ａ－２	CD－Ｉ	軽　　油

小　型　動　力　ポ　ン　プ　付　積　載　車						
分団名	年　式	車両番号	乗車定員	積載小型動力ポンプ		使用燃料
				機　　種	ポンプ性能	
郡　津	Ｓ６２	大阪８０ あ　・４２２	４人	シバウラ	Ｂ－３	ガソリン
倉　治	H１７	大阪８８３ あ　・１１９	４人	シバウラ	Ｂ－３	ガソリン
私　部	Ｈ　７	大阪８８ せ７６－２９	６人	トーハツ トーハツ	Ｂ－２ Ｂ－３	軽　　油
森	Ｈ　７	大阪８８ せ７８－８８	６人	トーハツ トーハツ	Ｂ－２ Ｃ－１	ガソリン
寺	Ｓ６１	大阪８０ あ　・３９６	４人	トーハツ	Ｂ－２	ガソリン
私　市	Ｈ１８	大阪８３０ さ３０－１８	６人	シバウラ トーハツ	Ｂ－３ Ｃ－１	軽　　油
星　田	Ｈ１８	大阪８３１ と　・１１９	６人	トーハツ トーハツ	Ｂ－２ Ｃ－１	軽　　油

予　　防　　課

[予 防 係]

１．　新築・増築・改築の防火対象物には、法令で設置義務のある消防用設備等について指導を行い、設置時には技術上の基準に適合しているか完成検査を実施し、不備欠陥があれば直ちに改修させた。

２．　秋（１１月９日～１１月１５日）、春（３月１日～３月７日）の全国火災予防運動の一環として、駅・店頭及び昼夜間巡回広報を実施するとともに、病院・スーパーマーケット等へ特別査察を実施し、市民並びに各事業場への警火心の高揚を図った。

３．　春（４月１８日～５月５日）、秋（１０月３日～１１月３日）の交野市山火事予防運動を実施し、森林の保全と山麓住宅の安全を推進するため、山地内のパトロール及び広報活動並びに横断幕の設置をすることにより、入山者等に対して、山火事予防の普及・啓発を図る事に努めた。

４．　重要文化財対象物に対して、関係機関との合同による特別査察を実施し、貴重な財産を火災からの損失防止に努めた。

５．　保育園、老人福祉施設、事業所等に対して避難・通報・初期消火の訓練を通じ、火災予防を呼びかけ、防火安全対策の啓発に努めた。

６．　市民を対象とした初期消火訓練を実施したほか、交野市職員出前講座等を通じ住宅用火災警報器の普及促進に努めた。

７．　緊急雇用対策事業を活用した防災安全対策の普及啓発事業として、住宅用火災警報器の全住宅への設置を目指すと共に、火災による死傷者の低減を目的として、平成２２年９月１日から平成２３年２月２８日の６ヶ月間臨時職員２名（女性）を雇用し、市内全域約２３，０００世帯へ啓発用リーフレットの配布及び設置率把握のため、アンケート調査を実施し、交野市は６８．６％の設置率となり、大阪府の平均設置率６２．３％全国平均６３,６％を上回る結果となった。

１．防火対象物

区　分		対　　象　　物	対象物数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3
	ロ	公会堂又は集会場	34
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備または物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗	1
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1
	ロ	飲食店	15
4		百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場	58
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	428
6	イ	病院、診療所又は助産所	22
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	17
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	23
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	7
7		小、中、高等学校、大学各種学校その他これらに類するもの	35
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	3
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	6
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	13
12	イ	工場又は作業場	149
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	9
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	52
15		前各号に該当しない事業場	87
16	イ	特定防火対象物を含む複合用途防火対象物	68
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	21
１６の２		地下街	
１６の３		準地下街	
17		重要文化財等	4
18		延長５０メートル以上のアーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
計			1059

※１５０㎡未満の対象物は除く。

２．建築同意事務処理状況

申請要旨	同意		計
	指導あり	指導なし	
新築	24	23	47
増築	4	1	5
改築			
その他			
計	28	24	52

３．用途別建築同意状況

区分		用途別	件数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ	公会堂又は集会場	1
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備または物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗	
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1
	ロ	飲食店	
4		百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場	2
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	3
6	イ	病院、診療所又は助産所	1
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	1
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	
7		小、中、高等学校、大学各種学校その他これらに類するもの	
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	1
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	
12	イ	工場又は作業場	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	4
15		前各号に該当しない事業場	5
16	イ	特定防火対象物を含む複合用途防火対象物	5
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1
１６の２		地下街	
１６の３		準地下街	
17		重要文化財等	
18		延長５０メートル以上のアーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
その他		専用住宅	24
計			52

４．消防用設備等の設置届出状況

用途別 / 設備別	集会場等	遊技場等	飲食店	百貨店等	寄宿舎・共同住宅等	病院・診療所等	老人福祉施設等	学校等	車両の停車場等	神社・寺院等	工場・作業場	自動車車庫等	倉庫	事務所等	複合用途防火対象物 特防を含む	複合用途防火対象物 特防を含まない	計
消火器		1		2	1	2	3			1	2	3		3	3	1	22
屋内消火栓設備		1															1
パッケージ型消火栓設備																	0
スプリンクラー設備							2										2
水噴霧等消火設備																	0
自動火災報知設備		1			1	1	1				3	2		1	4	1	15
ガス漏れ火災警報設備																	0
共同住宅用自動火災報知設備																	0
消防機関へ通報する火災報知設備							2										2
非常警報設備		1				1	1										3
避難器具																1	1
誘導灯		1		2	1	2	3				2			2	4	1	18
誘導標識											1	2		2			5
連結送水管												1					1
粉末消火設備・移動式												1					1
住宅用火災警報器							1										1

５．消防用設備等の設置状況

防火対象物の区分 ＼ 消防用設備等の種類	計	1		2				3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16の二	16の三	17	18	19	20
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ						
		劇場・観覧場	公会堂・集会場	キャバレー等	遊技場等	営業を営む店舗性風俗関連特殊	カラオケボックス等	待合・料理店等	飲食店	百貨店等	旅館・ホテル等	寄宿舎・共同住宅等	病院・診療所等	老人短期入所施設等	老人デイサービスセンター等	幼稚園等	小・中・高・大学等	図書館・博物館等	蒸気浴場熱気浴場	イ以外の公衆浴場	車両の停車場等	神社・寺院の類	工場・作業場	映画スタジオ等	自動車車庫等	飛行機格納庫等	倉庫	しない事業所前各号に該当	用途防火対象物特防を含む複合	用途防火対象物イ以外の複合	地下街	準地下街	重要文化財等	のアーケード50メートル以上	指定する山林市町村長の	定める舟車総務省令で
防火対象物（数）	1059	3	34		2		1	1	15	58	1	428	22	17	23	7	35	3			6	13	149		9		52	87	68	21			4			
屋内消火栓設備	115	2	2		1					5		21	1		1	1	31				1		32				2	10	5							
スプリンクラー設備	18	1								2			1	13		1																				
水噴霧等消火設備	84	1	1							7		39		2		1						2	10		6			10	4	1						
消防動力ポンプ設備	2																						2													
自動火災報知設備	527	3	12		2		1		1	35	1	154	11	17	19	7	33	2			5	3	104		5		23	43	39	3			4			
住戸用自動火災報知設備	26											26																								
共同住宅用自動火災報知設備	2											1																	1							
ガス漏れ火災警報設備	5									1	1			1														2								
漏電火災警報器	18		1							1		8	1		1	1							1				1	2					1			
消防機関へ通報する火災報知設備	31										1		4	17	7													1	1							
非常警報設備	305	3	20		2			1	14	26	1	119	9	13	4	4	23	3				7	1					28	21	6						
避　難　器　具	307		8		1				1	3		192	5	10	5	4	5	1				1	15				4	14	31	7						
誘　　導　　灯	623	3	33		2		1	1	15	53	1	167	20	17	22	7	25	3			3	7	82		3		19	61	66	12						
排　煙　設　備	2									2																										
連結散水設備	1																											1								
連結送水管	65									4		45		2									2		1				9	2						

１５０㎡未満の対象物を除く

６．中高層防火対象物状況

階数 地区別	3	4	5	6	7	8	9	10	計
倉　治	18	4							22
東倉治	7	10		1					18
神宮寺	1								1
郡　津	12	6	1		1		1		21
松　塚		1	6	1					8
幾　野	23	13	2		1				39
私　部	19	21	3		1				44
私部南	2	1	1		1				5
私部西	18	8	7	4	4			3	44
梅が枝	2		25	1	2				30
青　山	1								1
向井田	1	1	1						3
天野が原町	13	4		1					18
森　北	5	4	3	2	1	1			16
森　南	4	3							7
傍　示									0
寺	8	3	1						12
寺南野	1	2							3
私　市	12	3			1				16
私市山手	3								3
星　田	34	12	8	5	1	2			62
星田北	18	5	2				1		26
星田西	5	3	11		1				20
星田山手									0
藤が尾	6	1	25	1					33
妙見坂	4	14							18
妙見東									0
南星台			1						1
計	217	119	97	16	14	3	2	3	471

※一般住宅は除く

７．防火管理者選解任届出状況

区分＼月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
選　　任	2	7	5	3	6	3	1	3	3	2	2	5	42
解　　任	2	7	5	2	4	3	1	2	3	2	2	5	38

８．消防検査・立入査察実施回数

区分＼月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
立 入 検 査 等	4	5	7	4	5	8	7	11	5	2	3	14	75

９．山林パトロール実施状況

月日＼職団員	パ　ト　ロ　ー　ル　人　員					計
	消防職員	消　防　団　員				
		団本部	第１方面隊	第２方面隊	第３方面隊	
4月18日	2	1			5	8
4月25日	2	1			5	8
4月29日	2	1	5			8
5月2日	2	1	5			8
5月3日	2	1		5		8
5月4日	2	1		5		8
5月5日	2	1		5		8
10月11日	2	1		5		8
10月17日	2	1		5		8
10月24日	2	1		5		8
11月3日	2	1	5			8
計	22	11	15	30	10	88

１０．訓練指導

指導内容	指導回数	参加人員
通報・避難・初期消火・防火映画会	53	3246

１１．出前講座

派遣職員数	講座回数	参加人員
3	1	30

12. 住宅用火災警報器の地区別設置状況等

地区名	調査実施件数	回答件数	配布件数	回答率	設置件数	設置率	自火報等設置件数	自火報等含む設置率
倉治	1,872	1,227	1,110	66%	541	44.09%	117	48.96%
東倉治	853	296	570	35%	150	50.68%	155	67.63%
神宮寺	321	101	225	31%	40	39.60%	0	39.60%
幾野	1,225	630	778	51%	303	48.10%	318	65.51%
郡津	1,937	1,064	1,437	55%	493	46.33%	431	61.81%
松塚	459	258	157	56%	95	36.82%	210	65.17%
梅が枝	1,040	1,040	2	100%	1,035	99.52%	1,031	99.76%
私部南	215	117	182	54%	65	55.56%	109	76.99%
私部	2,268	1,136	1,318	50%	420	36.97%	529	57.00%
天野が原	1,075	675	530	63%	394	58.37%	168	66.67%
向井田	499	222	319	44%	64	28.83%	77	47.16%
私部西	536	265	274	49%	119	44.91%	790	86.16%
青山	245	142	115	58%	66	46.48%	0	46.48%
星田	2,635	1,352	1,501	51%	541	40.01%	827	62.78%
大字星田	43	41	2	95%	38	92.68%	0	92.68%
藤が尾	626	357	336	57%	227	63.59%	1,037	90.67%
妙見坂	863	445	515	52%	205	46.07%	464	73.60%
妙見東	512	249	316	49%	94	37.75%	0	37.75%
南星台	609	309	353	51%	119	38.51%	0	38.51%
星田山手	489	315	238	64%	128	40.63%	0	40.63%
星田北	326	205	150	63%	84	40.98%	212	70.98%
星田西	562	228	375	41%	93	40.79%	331	75.85%
私市	1,634	789	976	48%	359	45.50%	168	55.07%
私市山手	645	342	353	53%	170	49.71%	12	51.41%
寺	326	169	204	52%	97	57.40%	0	57.40%
森南	414	190	265	46%	113	59.47%	108	74.16%
森北	149	89	75	60%	51	57.30%	232	88.16%
大字森	12	3	11	25%	0	0.00%	0	0.00%
傍示	5	2	3	40%	0	0.00%	0	0.00%
計	22,395	12,258	12,690	55%	6,104	49.80%	7,326	68.58%

[危　険　物　係]

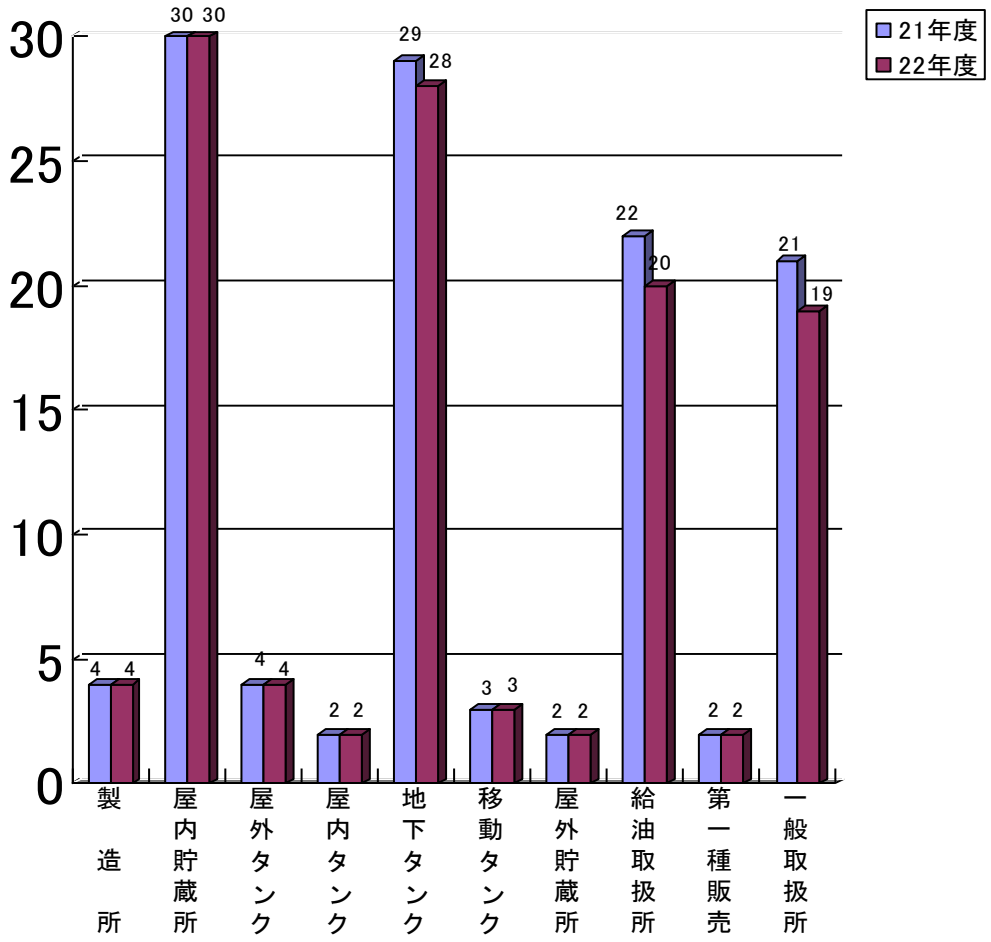
１．　危険物許可施設に対して、法令等の技術基準に適合した規制指導を実施した。

２．　全国危険物安全週間（６月６日～６月１２日）中は、危険物取扱事業所に対し立入査察を実施して、危険物の保安に関する確保について、指導・育成を図った。

３．　危険物許可施設の保安監督者に対して、安全推進講演会や研修会の参加要請し保安監督者としての責務を再認識することによって、事故の発生防止に努めた。

４．　危険物許可施設の取扱者に対し、法令で規定している保安講習への受講指導を行い安全管理の徹底を図った。

１．危険物施設数



２．危険物施設類別状況

区分 ＼ 類別	製造所	貯蔵所						取扱所			計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋外	給油	第一種販売	一般	
第１類		1									1
第２類											
第３類											
第４類	4	２７	4	2	２８	3	2	２０	2	１９	１１１
第５類											
第６類											
混在		2									2
計	4	３０	4	2	２８	3	2	２０	2	１９	１１４

３．地区別危険物施設状況

区分 地区別	製造所	貯蔵所						取扱所			計
		屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
倉治				2		1		3		1	7
東倉治				2		2				1	5
神宮寺											
郡津				2		1		1			4
松塚									1		1
幾野	4			8		１６	1	4		7	４０
私部				3	1	1					5
私部南				1		1				2	4
私部西				1		1		1		1	4
梅が枝											
青山											
向井田				1							1
天野が原町						1					1
森北								1			1
森南				1							1
傍示											
寺											
寺南野								1			1
私市			1	2	1	1		4		1	１０
私市山手											
星田				3					1	3	7
星田北		1	3	2	1	5	1	5		2	２０
星田西											
星田山手											
藤が尾		1									1
妙見坂										1	1
妙見東											
南星台											
計	4	2	4	２８	3	３０	2	２０	2	１９	１１４

４．危険物手数料納付状況

（単位：円）

区　　分	金　　額		
設置許可申請手数料	地下タンク貯蔵所	26,000×1	26,000
変更許可手数料	給油取扱所（屋内）	33,000×1	33,000
	給油取扱所（屋外）	26,000×5	130,000
	屋内貯蔵所	10,000×1	10,000
変更完成検査手数料	給油取扱所（屋内）	16,500×1	16,500
	給油取扱所（屋外）	13,000×5	65,000
	屋内貯蔵所	5,000×1	5,000
	一般取扱所（１０倍以下）	9,750×1	9,750
仮使用承認手数料	給油取扱所（屋外）	5,400×6	32,400
その他手数料	仮　貯　蔵	5,400×4	21,600
	仮　取　扱	5,400×4	21,600
水張り検査手数料		11,000×1 6,000×4	35,000
計			405,850

５．消防検査・立入査察実施件数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	計
立入検査等	5	5	8	6	9	3	8	4	3	4	3	3	６１

６．危険物関係事務処理件数

製造所等の別 区　分	製造所	貯蔵所						取扱所			計
		屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
変更許可						1		6			7
変更完成検査						1		6			7
仮使用承認								6			6
廃止届				1				2		2	5
保安監督者選解任届				4		1	1	2			8
譲渡・氏名・名称変更届				8		3		１４			２５
軽微な変更届						1		１２			１３
改修計画届				4				3		2	9
計				１７		7	1	５１		4	８０

警　備　１　課

警　備　２　課

警備課編

［警備係］

１、火災統計

平成２２年度中に発生した火災は２６件で、前年度と同数となり、１４日に１件の割合で発生したことになる。

火災種別では、建物火災１２件、林野火災０件、車両火災０件、その他火災１４件となっている。

出火原因では、放火（疑い含む）１３件、煙草３件、電気関係３件、火遊び２件、その他の原因にあっては５件となっており、火災による損害額は８，９３３（千円）で、前年度と比較して、２１，０３２（千円）の減額となった。

また、負傷者は２名で前年度と比較して、１名の減少となっており、死者は１名で前年度より１名の増加である。

２、救急統計

救急の出動件数は２，５８９件出動し、２，３７５名を医療機関へ搬送したが、前年度と比較して出動件数で２１４件の増加、搬送人員で２００名の増加となった。

これは、救急車が１日あたり７．０９件出動して、市民３３人（平成２２年度末人口７８，４００人を基準）に１人が医療機関に運ばれた割合となった。

救急搬送途上に救急隊員が行った傷病者に対する応急処置･高度救命処置・特定行為は２２項目で、延べ９，５６０回、心肺停止後救命処置を施した件数は５８件、生存退院は３名であった。

また、二次及び三次、四次（重複）救急出動件数は４８５件発生し、全体の出動件数のうち約１９％を占めている。

３、救助統計

救助出動件数は３５件で、前年度より３件の増加となり、交通事故１１件、その他の事故１８件、ガス及び酸欠事故３件、水難事故２件、機械による事故１件に出動し、負傷者２９名を救出した。

４、各種届出等状況

各種届出受理状況の総数は２０６件で、火煙上昇届９５件、道路工事届９０件、水道断水届１件、催物開催届２０件を受理した。

一方、各種証明書事務処理状況は、り災証明書３１通、その他証明書２通、救急搬送証明書７通を発給した。

５、通信統計

緊急通報システムの１１９番（一般加入通報を含む）受信状況は、火災・救急・救助・警防・その他を合わせて５，４０６回受信した。これは１日平均１４．８回の受信となり、携帯電話からの火災・救急・救助・警防の

１１９番受信（転送含む）回数は７７５回であった。
　また、気象情報の受信は、警報１件、注意報２１５件、情報等８４８件であった。

６、主要行事・訓練
（１）春・秋の火災予防運動、消防出初式、年末年始特別警戒等主要行事。
（２）大阪府・北河内地域７市合同防災訓練へ参加した。
（３）消防救助技術近畿地区指導会、はしご登はん部門に４名が出場し、全員が優秀な成績を収めた。（兵庫県三木市　兵庫県広域防災センター）
（４）初期消火訓練・避難訓練、救急法、普通救命講習等で１７８団体、延べ２，３１９名に訓練指導を実施した。
（５）中学生を対象とした職場体験を通じて、普通救命講習を行い生徒２２人に受講済みカードの発給を実施した。（実施時間８：３０～１６：００）

７、緊急消防援助隊
　東北地方太平洋沖地震に伴い、緊急消防援助隊大阪府隊として、平成２３年３月１１日（金）午後８時３０分に職員５名を第１次隊として被災地に派遣。
　また、第１次隊の交代要員として第２次隊を平成２３年３月１３日（日）午後２時に職員４名を被災地に派遣した。

○ 活動内容：被災地における人命検索活動
○ 派遣先　：岩手県上閉伊郡大槌町
○ 活動車両：消防ポンプ自動車（かたのしょう４）
○ 活動状況
　□ ３月１１日午後８時３０分緊急消防援助隊大阪府隊として、第１次隊５名が被災地岩手県に向け出動。
　□ ３月１３日午前３時岩手県に到着。野営地は遠野運動公園。
　□ ３月１３日午前８時００分から災害現場である岩手県大槌町に移動し、直ちに人命検索活動を開始。
　□ ３月１４日も前日と同様、人命検索活動を行う。
　□ ３月１４日午後５時頃、交野消防第２次隊４名が被災地に到着。
　□ ３月１５日午前０時第１次隊が任務を終え帰還。
　□ ３月１５日から１８日にかけて、第２次隊が被災地において人命検索活動を行う。
　□ ３月２０日午前１０時、第２次隊が交野市に帰還した。

８、消防施設等状況

市街地の消防水利状況は、平成２３年３月３１日現在、消火栓１，４２８基、防火水槽４０ｔ以上６６槽となった。

９、各種事業実績

(1) 消火薬剤廃棄、消防管理地及び山林防火施設の枯木伐採、高圧ガス製造施設定期検査、感染性医療廃棄物処理等を委託事業として実施した。

(2) 通信設備の充実として、統合型位置情報通知システムを導入した。統合型位置情報通知システムとは、固定電話と携帯電話から通報した発信位置に関する情報を表示する２つの機器を統合することでコストを下げ、自動的に消防本部にある指令台の地図上に位置情報を表示させ、迅速に通報位置を特定することができ、より早い出動に繋がることができるシステムです。

※ 位置情報発信装置導入費、ＩＰ－ＶＰＮ回線初期構築費、ＩＰ－ＶＰＮ回線利用料の３つの費用は実証実験対象により総務省消防庁負担。

(3) 消火栓設置等負担事業として、消火栓４基の移設、１５基の修理を実施した。

1. 火災統計

（1） 過去3年間の火災概況

（単位：件）

区分＼年度別		平成22年度	平成21年度	平成20年度
総出火件数		26	26	33
内訳	建物火災	12	14	21
	林野火災	0	2	2
	車両火災	0	2	2
	その他火災	14	8	8
焼損棟数 ※( )内は類焼棟数		15(3)	15(1)	24(3)
内訳	全焼	1	3	5
	半焼	0	1	2
	部分焼	2	0	2
	ぼや	12(3)	11(1)	15(3)
焼損建物面積（㎡）		279	268	700
焼損林野面積（a）		0	5	44
り災世帯数		11	10	15
り災人員		26	24	41
人的被害(人)	死者	1	0	1
	負傷者	2	3	3
損害額（千円）		8,933	29,965	84,659
内訳	建物	8,901	29,655	82,536
	林野	0	0	0
	車両	0	309	2,034
	その他	32	1	89
一日当たりの損害額（千円）		24	82	232
主な出火原因	1位	放火(疑い含む) 13	煙草 6	天ぷら油の加熱 5
	2位	煙草 3	放火(疑い含む) 5	放火(疑い含む) 4
	3位	電気関係 3	電気関係 5	電気関係 4
	4位	火遊び 2	天ぷら油の加熱 2	煙草 3
	その他	その他 5	その他 8	その他 17

（2） 地区別・月別火災発生状況

（単位:件）

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地区別＼計	26	3	1	2	1	5	3	2	1	1	2	1	4
倉治	1						1						
東倉治	3					1	1				1		
神宮寺	0												
郡津	3		1			1							1
松塚	1							1					
幾野	2										1		1
私部	2						1						1
私部南	0												
私部西	1									1			
梅が枝	1					1							
青山	0												
向井田	0												
天野が原町	1	1											
森北	0												
森南	0												
傍示	0												
寺	0												
寺南野	0												
私市	3	1			1								1
私市山手	0												
星田	5	1		1				1	1			1	
星田北	2			1		1							
星田西	1					1							
星田山手	0												
藤が尾	0												
妙見坂	0												
妙見東	0												
南星台	0												
山地内	0												

〔救急係〕

2. 救急統計

（1） 過去3年間の事故別救急出動状況

（単位:件）

区分＼年度別			平成22年度	平成21年度	平成20年度
出動件数			2,589	2,375	2,510
事故種別	火災		21	23	31
	自然災害		1		
	水難事故				
	交通事故		326	320	300
	労働災害		18	19	10
	運動競技		18	15	20
	一般負傷		371	321	383
	加害事故		13	15	19
	自損行為		36	30	39
	急病		1,675	1,535	1,599
	その他	転院搬送	103	92	103
		医師搬送			
		資機材搬送			
		その他	7	5	6
搬送人員			2,375	2,175	2,291
管内管外搬送別	交野市		1,099	1,029	1,107
	枚方市		848	773	845
	寝屋川市		99	93	81
	他市町村		329	280	258
一日当たりの出動件数（件）			7.09	6.51	6.88
一日当たりの搬送人員（件）			6.51	5.96	6.28

（2） 地区別救急出動状況

（単位:件）

地区別 ＼ 事故別	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	内不搬送
	2,589	21	1	0	326	18	18	371	13	36	1,675	110	250
倉治	252	2			27	4	1	36	2	7	172	1	28
東倉治	56	1			5	1	3	6		1	39		3
神宮寺	19				2			3		1	13		1
郡津	165	3			24	1		33	2	2	100		12
松塚	85				8	1		9	1		65	1	7
幾野	133	1			15	5		13		1	95	3	17
私部	292	1			24			37	3	5	172	50	21
私部南	39				6		5	4		1	23		2
私部西	125				37			23	1	1	62	1	18
梅が枝	130				10			14	1	4	90	11	14
青山	33				12			4			17		1
向井田	73				13		6	9			45		6
天野が原町	111				15	2	1	12	1		76	4	9
森北	58				8			7			37	6	2
森南	38				3			10			25		2
傍示	0												
寺	38				3			6			29		
寺南野	2				1						1		
私市	159	1	1		20		2	32		2	100	1	18
私市山手	40				1			4	1	1	33		4
星田	315	7			32			51		4	212	9	45
星田北	84	2			39	4		9		1	28	1	11
星田西	50	1			6			9			32	2	5
星田山手	26				1			6		1	18		3
藤が尾	135				5			16		2	95	17	11
妙見坂	51				1			7	1	1	38	3	4
妙見東	28							5			23		3
南星台	44	1			4			5		1	33		1
その他	8	1			4			1			2		2

（3） 年齢別救急搬送状況

（単位：人）

年 齢 別		新生児 28日以内	乳幼児 29日以上 7歳未満	少年 7歳以上 18歳未満	成人 18歳以上 65歳未満	老人 65歳以上
計	2,375	3	156	122	915	1,179

（4） 所要時間別病院収容状況

（単位：人）

事故種別 ＼ 所要時間	計	出動から最終医療機関等に収容した時間					
		10分未満	10～20分	20～30分	30～60分	60～120分	120分以上
	2,375	1	96	869	1,298	96	15
急病	1,514		35	525	882	60	12
交通事故	330		39	141	141	9	
一般負傷	344		13	121	190	18	2
その他（上記以外）	187	1	9	82	85	9	1

（5） 診療科目別搬送状況

（単位：人）

搬送人員 ＼ 診療科目		内科	循環器	呼吸器	小児科	新生児	外科	整形外科	脳外科	胸部外科	腹部外科	血管外科	口腔外科
合計	2,375	702	166	12	133		124	412	527				
内管外	1,276	240	156	8	123		30	150	309				

小児外科	産婦人科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科	神経内科	精神科	その他（内訳） 救命センター 消化器内科 形成外科等
	46	18	1	21	6		36	171
	45	10	0	21	5		36	143

（6） 月別重複救急出動状況

（単位：件）

重複回数 ＼ 月別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二次重複	421	29	22	39	42	46	37	25	31	47	40	32	31
三次重複	62	7	2		5	8	4	6	3	7	7	9	4
四次重複	2										1		1
（1号出動中重複）	85	9	5	6	8	15	13	2	6		11	2	8
（2号出動中重複）	36	1		3	3	2	3	7		10	2	5	
（3号出動中重複）	3			1							2		

（7） 救急隊員が行った救急処置状況

（単位:件）

応 急 処 置	種別 計	急 病	交通事故	一般負傷	その他
	9,560	6,150	1,352	1,305	753
止　　血	56	9	8	30	9
固　　定	214	6	137	42	29
人　工　呼　吸	4	4			
胸骨圧迫（心臓マッサージ）	0				
うち 自 動	0				
心　肺　蘇　生	58	50	1	4	3
うち 自 動	0				
酸　素　吸　入	550	440	27	31	52
保　　温	9		2	2	5
被　　覆	160	5	77	66	12
在 宅 療 法 継 続	42	41		1	
A 点滴処置	5	5			
B 気管切開・人工肛門等	8	8			
C 上記以外の処置	29	28		1	
ショックパンツ	0				
その他の処置	2,424	1,574	322	344	184
血 圧 測 定	2,172	1,372	313	315	172
心・呼吸音の聴取	949	662	117	104	66
血中酸素飽和度測定	2,290	1,453	326	332	179
心 電 図 測 定	511	433	17	23	38
うち 伝 送	0				
気 道 確 保	97	81	1	11	4
A 用手によるもの	58	50	1	6	1
B 経鼻エアウェイ	4	2		2	
C 喉頭鏡・鉗子	0				
D ラリンゲアル等	13	7		3	3
E 気 管 挿 管	22	22			
除 細 動	7	7			
パッド準備使用	4	4			
静 脈 路 確 保	15	11	4		
薬 剤 投 与	2	2			

※ 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、搬送人員と応急処置項目等の合計数とは一致しない。

〔救助係〕

3．救助統計

（1） 救助出動状況

（単位：人）

NO	発生日	出動場所	事故種別	事故内容	負傷程度			
					死亡	重症	中等症	軽症
1	4月8日	天野が原町	その他	建物に閉じ込め				
2	4月16日	私市	その他	川に転落				1
3	6月28日	私市	交通事故	車が田んぼに転落しそう				
4	7月7日	私市	水難事故	川に人が流された				1
5	8月21日	梅が枝	その他	建物に閉じ込め			1	
6	9月11日	東倉治	機械による事故	耕運機に足が挟まれた			1	
7	9月16日	郡津	交通事故	車内に閉じ込め				1
8	9月19日	大字倉治	ガス及び酸欠事故	車内にて練炭による自損行為	1			
9	9月19日	妙見東	ガス及び酸欠事故	車内にて練炭による自損行為	1			
10	9月26日	星田	その他	建物に閉じ込め				
11	10月20日	星田北	交通事故	自転車の後輪に足が挟まれた				1
12	10月25日	倉治	交通事故	ダンプカーが道路下に転落			1	
13	10月27日	私部	その他	女性がマンションから飛び降りようとしている				
14	11月2日	天野が原町	その他	建物に閉じ込め			1	
15	11月9日	倉治	ガス及び酸欠事故	有毒ガスを発生させた自損行為			1	
16	11月10日	幾野	交通事故	車内に閉じ込め				2
17	11月16日	私部	交通事故	車内に閉じ込め				1
18	11月27日	星田	その他	マンホールに指が挟まれた				
19	11月28日	私市	交通事故	車内に閉じ込め		1	1	
20	12月5日	大字星田	その他	山林内での救急搬送支援				1
21	12月19日	私市	その他	谷底に人が滑落				1
22	12月22日	郡津	その他	男性が約3m下の川に転落			1	
23	12月31日	東倉治	交通事故	男性が列車に衝突した	1			
24	1月14日	私部西	交通事故	車内に閉じ込め				1
25	1月26日	倉治	その他	山林内崖下の自損行為	1			
26	1月31日	私部西	その他	車内に閉じ込め				
27	2月15日	寺	その他	溝に足首が挟まれた				1
28	2月18日	私市山手	その他	山林内での救急搬送支援			1	
29	2月23日	私部	その他	建物に閉じ込め			1	
30	2月27日	大字私部	水難事故	河川内に男性が滑落または転落	1			
31	3月3日	郡津	その他	バイクが溝に落ちている				
32	3月7日	私部南	その他	建物に閉じ込め			1	
33	3月18日	星田北	交通事故	自転車が川に転落				1
34	3月30日	私市山手	その他	マンホールに指が挟まれた				
35	3月31日	妙見坂	交通事故	車の下敷き		1		
計					5	2	10	12

（2） 救助出動前年度比較表

（単位:件）

区分＼年度別	平成22年度	平成21年度	平成20年度
火　　災	0	0	1
交　通　事　故	11	11	5
水　難　事　故	2	2	0
風水害等自然災害事故	0	0	0
機械による事故	1	0	0
建物等による事故	0	1	1
ガス及び酸欠事故	3	1	1
破　裂　事　故	0	0	0
その他の事故	18	17	12
合　　計	35	32	20

（3） その他の緊急出動状況

（単位:件）

区分＼年度別	平成22年度	平成21年度	平成20年度
危険排除	27	25	27
緊急確認	40	27	32
現場確認	14	9	10
虚報・誤報	3	5	8
そ　の　他	2	1	1
支　　援	58	11	29
合　　計	144	78	107

4. 各種届出等状況

（1）各種届出等事務処理状況

種別		火煙上昇届	道路工事届	水道断水届	催物開催届
計	206	95	90	1	20

（2） 各種証明書発給状況

証明書内容	発行数
り災証明書	31
証　明　書	2
救急搬送証明書	7
計	40

〔通信指令係〕

5. 通信統計

（1）119番受信状況　　（単位：件）

区分		火災				救急				救助				警防				その他					
		専用	IP	携帯	その他	専用	IP	携帯	その他	専用	IP	携帯	その他	専用	IP	携帯	その他	病院手配	訓練通報	試験通報	間違い	いたずら	その他
合計	5,406	6	5	16	9	771	695	723	356	2	2	15	15	7	4	21	36	864	119	907	153	22	658

（2）無線局一覧表

符号	種別			周波数	出力
かたのしょうほんぶ	基地局	第1装置	市町村波	152．23MHz	5W
		第2装置	府県共通波	153．53MHz	10W
		第3装置	救急波	146．84MHz	10W
		第4装置	全国共通波（全共1）	150．73MHz	10W
		第5装置	全国共通波（全共2）	148．75MHz	10W
		第6装置	全国共通波（全共3）	154．15MHz	10W
かたのしょう及び	陸上移動局	車載型		17基（常備のみ）	
かたのきゅうきゅう		携帯型		29基（非常備含む）	

（3）気象関係

① 気象情報受信状況（大阪管区気象台発表）

種別		警報			注意報				情報			
		大雨・洪水	暴風	その他	乾燥・強風	大雨・洪水	雷	その他	火災気象	地震	大雨	その他
計	1,064	1	0	0	79	22	85	29	34	432	159	223

② 気象観測状況（消防本部観測）

雨量	年度内総雨量	1,273.5 ㎜
風速	年度内平均風速	2.6 ㎧
気温	年度内平均気温	16.3 ℃
湿度	年度内平均湿度	65.5 %

1日あたりの最高雨量	7月14日	83.5 ㎜
年度内最大風速	12月3日	23.3 ㎧
年度内最高気温	8月23日	38.2 ℃
年度内最低気温	1月31日	−5.3 ℃

6. 年間行事・訓練

（1） 年間行事

実施日	事業内容	回数	実施場所
4月～5月	春の山火事予防運動に伴う駅頭広報	6	私市駅
	消防用パイプライン等地水利調査	12	山地内
6月	危険物安全週間に伴う立入検査	2	市内全域
7月	消防救助技術近畿地区指導会	1	三木市
	消防職員対象の交通安全講習会	1	署（研修室）
10～11月	秋の山火災予防運動に伴う駅頭広報	5	私市駅
	秋の火災予防運動（市内巡回広報）	6	市内全域
	東ブロック大阪ガス器具取扱い研修	2	大阪市
	東ブロック救助研修会（瓦礫救出訓練）	1	府立消防学校
	大阪府・北河内地域7市合同防災訓練	1	深北緑地
12月	年末特別警戒巡回広報	6	市内全域
1月	平成23年消防出初式	1	第四中学校
	市民に対して消防車両の写真撮影会	1	第四中学校
3月	春の火災予防運動（市内巡回広報）	7	市内全域
	火災予防運動に伴う消防車両の展示・写真撮影会	1	イズミヤ店頭
備考	その他日常訓練として、実践操法訓練、梯子車操作訓練、各種救助訓練、救助器具取り扱い訓練、救急処置訓練、防火対象物実態調査、消火栓点検、体力練成等を実施。		

（2） 訓練指導状況

指導内容	指導回数	参加人員
通報・避難・初期消火	135	1,723
応急手当普及員講習	2	9
普通救命講習	32	393
救急法	9	194
計	178	2,319

（3） 体験学習実施状況

学校名	月日	内容	人数
関西創価中学校	平成22年10月27日（水）	普通救命講習・消火訓練	6
関西創価中学校	平成22年10月28日（木）	通信指令室・救助訓練	6
交野市立第3中学校	平成22年11月4日（木）	普通救命講習・消火訓練	4
交野市立第3中学校	平成22年11月5日（金）	通信指令室・救助訓練	4
交野市立第4中学校	平成22年12月1日（水）	通信指令室・救助訓練	6
交野市立第4中学校	平成22年12月2日（木）	普通救命講習・消火訓練	6
交野市立第2中学校	平成23年2月8日（火）	普通救命講習・消火訓練	6
交野市立第2中学校	平成23年2月9日（水）	通信指令室・救助訓練	6

7. 緊急消防援助隊（大阪府隊）

（1）東北地方太平洋沖地震に伴う人命検索等の活動状況

派遣日	日数	派遣先	人員
3月11日～3月15日	5日間	岩手県上閉伊郡大槌町	5
3月13日～3月20日	8日間	岩手県上閉伊郡大槌町	4

8. 消防施設等状況

（1） 管内水利状況

ア 市街地

種別	消火栓合計	公設消火栓	私設消火栓	防火水槽・内（ ）は耐震製			プール
		内（ ）は地上式	内（ ）は地上式	40t以上	20～40t未満	20t未満	（ ）は採水口付
計 / 地区別	1428(26)	1,366(11)	62(15)	66(26)	4	0	20(6)
倉治	115	115		5(2)	2		1
東倉治	37	37					1
神宮寺	22	22					
郡津	92	91	1	4(1)	1		3
松塚	24	18	6	1			
幾野	74(2)	73(1)	1(1)	8(2)	1		1(1)
私部	133(1)	132(1)	1	2			1
私部南	21(1)	20	1(1)				1
私部西	58	56	2	5(2)			
梅が枝	22	2	20	1(1)			
青山	17	17		1(1)			
向井田	31	31		3(3)			1(1)
天野が原町	63(3)	63(3)		5			1(1)
森北・寺南野	21	21					2
森南	26	26					
寺	25(3)	22	3(3)	4(1)			1(1)
私市	100(4)	99(3)	1(1)	2(1)			1(1)
私市山手	28	28					
星田	154(1)	154(1)		3(1)			3
星田北	60	59	1	3(3)			1
星田西	91	91		5(5)			1(1)
星田山手	27(1)	27(1)		5(1)			
藤が尾	71(9)	46	25(9)	1(1)			
妙見坂	48(1)	48(1)		2(1)			1
妙見東	26	26		5			
南星台	42	42		1			

イ　山地内（パイプライン施設）

地区名	ル　ー　ト　名	敷設年度	延長距離（m）	管口径（mm）	放水口（箇所）	防火水槽	
						40t以上	20t以上～40t未満
私市	私市・獅子窟寺　2ルート	S52	281.5	50	4		2
	私市・獅子窟寺	S57	323.3	65	3		
	獅子窟寺参道	H5	484	65	12		
	獅子窟寺・私市山手	S62	264.5	65	5		
	私市山手・土生川	H1	219.6	65	4		
	獅子窟寺・仁王門	H2	312.4	65	5		
	私市・きつね山	H6	250	65	5		
	私市尺治坪坂	H7	116.8	65	2		
	星の里いわふね	H8	347.6	65	11		
星田	星田妙見宮	S54	208.3	65	3		
	やすらぎの杜	S62	404.4	65	9		
	星田妙見川	H1	233.2	65	2		
	星田新宮山	H2	100	65	3		
	星田新池右岸	H9	250	65	2		
	星田新池左岸	H10	245	65	3		
森	森南古墳群	S55	362.4	65	3		1
	森南古墳群防火水槽上	H3	489	65	10		
寺	寺・かいがけの道	H1	298.3	65	6		
傍示	傍示・かいがけの道	S59	416.75	65	4	1	
	傍示・関電道路	H1	816.1	65	9		
	傍示・私部神社地	H4	543	65	15		
私部	私部・旗振山・郡南街道	S61	590.5	65	10	1	
	私部・奥山	S62	555.7	65	5		
	私部・口山	S63	419	65	8		
	私部郡南街道・大曲り	H2	510.5	65	9		
	郡南街道・上下　2ルート	H3	608.45	65	12		
倉治	倉治・宮山	S56	319	65	4		
	倉治・交野山、源氏の滝　2ルート	S60	1,329.87	65	22		
	郡南街道北山、雪が原　2ルート	S62	559.6	65	11		
	倉治・交野CC・交野山	S63	339.5	65	8	1	
	倉治・山手配水地	H1	404.6	65	9		
	倉治・白旗池北	H1	439.5	65	10		
府民の森	くろんど林苑		2,443.10	100	11	2	3
	星田林苑		2,830.00	100	18	9	
計			18,315.47		257	14	6

（2） 保有車両状況

名　　称	年　式	車両番号	Nox ・ PM規制
梯　　子　　車	H8	大阪88 な 69－62	平成28年3月まで
タ　ン　ク　車	H7	大阪88 な 68－10	平成23年9月まで
ポ　ン　プ　車	H11	大阪800 さ 37－32	規制適合
ポ　ン　プ　車	H20	大阪831 み 119	規制適合
救 助 工 作 車	H19	大阪831 ふ 119	規制適合
高 規 格 救 急 車	H18	大阪800 す 97－44	規制適合
高 規 格 救 急 車	H16	大阪800 す 40－74	規制適合
高 規 格 救 急 車	H9	大阪88 は 32－30	規制適合
2 B 型 救 急 車	H8	大阪88 は 292	規制適合
軽　ダ　ン　プ	H9	大阪80 あ 14－17	規制適合
指 揮 ・ 支 援 車	H17	大阪800 す 65－80	規制適合
庶 務 貨 物 車	H16	大阪400 て 73－69	規制適合
広 報 ・ 連 絡 車	H19	大阪800 せ 604	規制適合
査　　察　　車	H22	大阪880 あ 14－85	規制適合

9. 各種事業実績

（1）消防施設整備委託事業等

委託事業内容	委託期間	委託金額
消火薬剤廃棄	平成23年3月1日（1日）	49,500円
妙見東1丁目7番地 消防管理地（枯松伐採）	平成22年10月20日から 平成22年10月31日まで	438,900円
傍示232番地外 傍示関西電力管理道路沿い （下草刈り及び枯木伐採）	平成22年11月27日から 平成22年12月10日まで	174,300円
私市2394番地外 土生川パイプライン及び管理道路沿い （下草刈り及び枯木伐採）		

委託事業内容	委託目的	委託金額
高圧ガス製造施設定期検査	高圧ガス保安法第35条の2に基づく定期検査	300,000円

委託事業内容	委託目的	委託金額
感染性医療廃棄物 処理業務委託	救急業務において排出される廃棄物は医療廃棄物であるため廃棄物の処理及び清掃に関する法律第3条第1項の規定に基づき業務委託	50㍑ダンボール箱で収集 1箱2,625円 年間16回×2,625円 合計42,000円

（2）通信設備整備事業等

委託事業内容	委託目的	委託金額
指令台住民情報更新委託	緊急支援検索システムに詳細な情報を入力することで、119番通報等による適切な措置の向上を図る為	年間費用　54,600円 1回　更新費用　13,650円 年度内　4回更新
消防救急無線デジタル波電波伝搬調査業務委託	東ブロック各市が平成28年6月末日までに整備しなければならない消防救急無線のデジタル化について、電波伝搬調査を共同で実施していく事により、より一層経費の節減や効率化を図ること	988，680円
第2京阪道路新設に伴う地図検索装置データ追加作業	第2京阪道路新設に伴う地図検索装置データ追加委託作業	1，470，000円

事業内容	目的	金額
新発信地表示システム使用料	NTT回線からの119番通報時に通報者の発信者情報（電話番号）を表示させる為	2，148，001円（年間）
新発信地表示システム保守料	上記システムの保守	230，800円（4～5月） 6月以降は統合型に移行するため不要

事業内容	目的	金額
地図検索システム賃借料	指令台と地図とを連動させることによって、通信指令室の作業効率を上げ迅速な出動をする為	2，190，000円（4月～9月） 10月以降は無償譲渡により不要
地図検索システム保守料	上記システムの保守	2，465，820円（年間）

（3） 負担金補助支出状況

消火栓設置等に係る負担金

交　付　先	内　　訳		
交野市水道局	新設	移設	修理
		4基	15基
		1,302,000円	3,805,200円
合　　計	5,107,200円		